

平成20年7月15日

茅野市・富士見町・原村広域ごみ処理協議会  
会長 柳平千代一 様

環境会議・諏訪  
会長 塩原 俊  
事務局長 清水 馨

## 公開質問状

### ごみ処理基本方針検討委員会の性格について

茅野市・富士見町・原村広域ごみ処理協議会（以下「協議会」という）は、このほど、ごみ処理基本方針検討委員会（以下「委員会」という）を設置し、6月24日に第1回委員会が開催されました。

席上、委員長・副委員長が委員により互選されましたが、形式は「互選」ではあっても事実上は事務局の「推薦」であって、「指名」に近い形であったことは明らかなです。

委員長は日本環境衛生センター常務理事の藤吉秀昭氏で、副委員長は諏訪東京理科大学教授の奈良松範氏と聞いております。

委員長に互選された藤吉秀昭氏は、全国各地の焼却炉建設検討委員会や焼却炉の機種選定検討委員会の委員を歴任している方で、いわば全国で熔融炉を導入するための牽引役を努めている中心人物であると聞いております。

このような人物をわざわざ東京から招聘して、委員が検討する時間が無いまま、委員長に「選任」したことには、事務局の「特定の意図」を感じざるを得ません。

この人事を見る限り、事務局がこの委員会の論議を「熔融炉容認」の方向に導こうと意図していることは明らかではありませんか。

もし最初からそのような「意図」を持って委員会が招集されたのであれば、「結論」は明らかであり、委員会の設置そのものが問題にされなければならないのではありませんか。

協議会会長のご意見を承りたいと思います。

ご回答は、公開を前提として、文書により7月25日までにお願いいたします。

(以上)